

平成29年10月10日
九州電力株式会社

**インドネシア・サルーラ地熱 I P P プロジェクトの2号機（出力108.7MW）が
10月2日に営業運転を開始しました**
- 世界最大規模の地熱 I P P プロジェクトの推進 -

当社が参画している、世界最大規模のインドネシア・サルーラ地熱 I P P プロジェクトのうち、2号機（出力108.7MW）が平成29年10月2日に営業運転を開始しました。

引き続き、3号機（出力107.7MW予定）の営業運転開始（平成30年予定）に向けて、安全・防災はもとより、環境保全に万全を期して建設工事を継続します。

当社は、国内の地熱開発を通して培った地熱発電技術を活かし、地球温暖化対策及びインドネシアの電力の安定供給に貢献します。

また、電力需要の拡大が見込まれるアジアを中心に、これまで注力してきたガス火力に加え、石炭火力及び地熱を重点分野として、積極的に優良案件の開発に取り組み、中期経営方針で掲げた2030年の海外発電事業持分出力500万kWの目標達成を目指してまいります。

〔主な経緯〕

- 平成19年10月 本プロジェクトへの参加権益を取得
- 平成25年4月 事業会社を通じてインドネシア国有電力会社と売電契約を締結
- 平成26年3月 事業会社を通じて銀行団と融資契約を締結
- 平成26年5月 本格工事開始
- 平成29年3月 初号機（105.9MW）営業運転開始
〔平成29年3月22日お知らせ済〕

ずっと先まで、明るくしたい。

「快適で、そして環境にやさしい」
そんな毎日子どもたちの未来につなげていきたい。
それが、私たち九州電力の思いです。

〔プロジェクトの概要〕

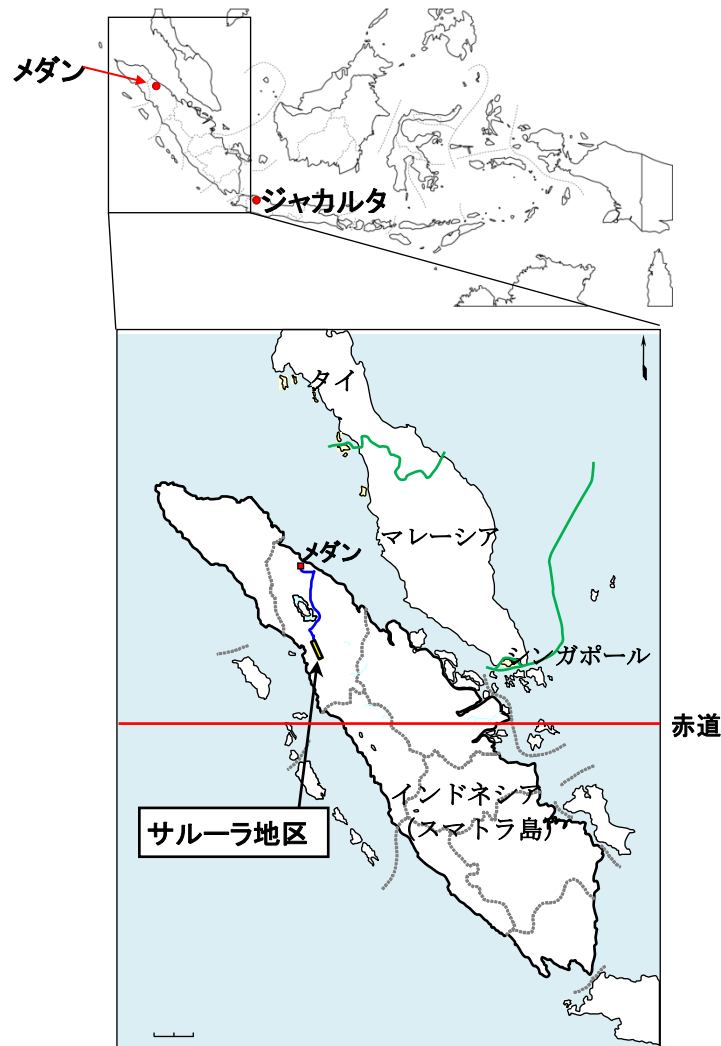
項 目	内 容
建 設 予 定 地	インドネシア 北スマトラ州 サルーラ地区 (インドネシア第4の都市メダンから南へ約350km)
事 業 内 容	地熱資源開発から発電までの一貫開発 30年間にわたりインドネシア国有電力会社へ売電
計 画 出 力	320.8 MW (3系列)
出 資 者 (各子会社を通じて出資)	当社 25% 伊藤忠商事株式会社 25% 国際石油開発帝石株式会社 (注1) 18.25% PT Medco Power Indonesia (注2) 19% Ormat Technologies, Inc. (注3) 12.75%
工 期	平成26年5月着工 平成30年完工予定

注1 平成27年に国際石油開発帝石が100%子会社を通じ、Medco子会社の49%の株式を取得し、本プロジェクトに参画

注2 インドネシア最大手の民間資本総合エネルギー企業であるPT Medco Energi Internasional Tbk 他を親会社とする電力事業会社

注3 地熱発電に関する開発・主要機器製造・建設・事業投資・運営を一貫して取り組む米国企業

〔発電所建設地〕



以 上



インドネシア・サルーラ地熱 I P P プロジェクト 2 号機